

今度始めて年号が日本の古典「万葉集」からとられました。日本最古の和歌集で、天皇から兵隊、農民までの幅広い歌を4516首集めていきます。日本人の心を、万葉仮名を使って表わし、国民としての精神的統一が図られました。万葉ゆかりの地、江津市と美郷町での講演会です。

江津会場

令和
2年
1/12(日)

〈入場無料〉

◎時間 / 13:00～16:30

◎会場 / 江津市地域産業センター

江津市嘉久志町1405番地 電話 (0855)52-0600

特別講演

13:00～

京都大学名誉教授 内田賢徳先生の楽しい講演〈I〉

「妹が門見む」という表現の成立」



〔柿本人麻呂像〕
万葉公園内



「妹が門見む、靡けこの山」という強い希求は、万葉集の中で孤立しているわけではありません。この表現が生まれるまでの和歌の歴史をたどります。

地域講演

14:30～

1.「江津の万葉のすばらしさを語る」-江津市内各地区の活動-

(1) 麻呂の会 (2) 角の会 (3) 万葉ロマンの会 (4) 「石見相聞歌」の朗唱

2.「小学生(5年)・中学生(2年)の短歌教室と万葉のふるさと江津」

山陰万葉を歩く会 会長 川島 芙美子

〔主催〕山陰万葉を歩く会 〔後援〕江津市、江津市教育委員会、江津市観光協会 〔共催〕リレー万葉講演会江津実行委員会

大崎島から見た
「石見相聞歌」の舞台

美郷町会場

令和
2年
1/13(祝・月)

〈入場無料〉

特別講演

13:00～

京都大学名誉教授 内田賢徳先生の楽しい講演〈II〉

「柿本人麻呂の人柄をさぐる」

人麻呂については、歌以外の記録が全くありません。しかし、彼の歌は能弁に、どのような人柄であったかを語り出しています。それをたどってみます。

美郷町の「人麻呂公御神像」-中世に広まった人麻呂信仰-

山陰万葉を歩く会 会長 川島 芙美子

地域講演

14:30～

〔主催〕山陰万葉を歩く会 〔後援〕美郷町、美郷町教育委員会、美郷町観光協会 〔共催〕リレー万葉講演会美郷町実行委員会



〔人麻呂公御神像〕
南北朝・横阿(はんあ)上人作
齋藤茂吉鶴山記念館藏

※内容が一部変更となる場合があります。

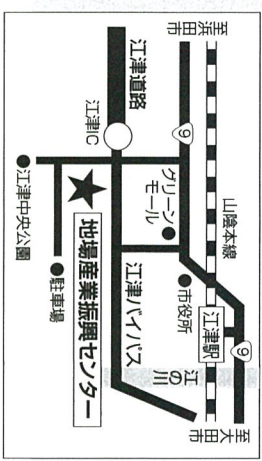
*地域講演の詳細、アクセスは裏面をご覧ください。

お問合せ

益田市観光交流課 TEL.(0856)23-4655
〒698-0024 益田市駅前町17-1 益田駅前ビルEAG3階

江津会場 1月12日(日)

◎時間 / 13:00～16:30 (入場無料)
◎会場 / 江津市地場産業センター
江津市嘉久志町4405番地 電話(0855)52-0600



〈1〉「江津の万葉のすばらしさを語る」ー江津市内各地区の活動ー



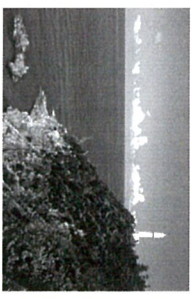
万葉公園



都野津柿本神社



多嶋神社



大崎鼻

(1) 麻呂の会ー万葉公園

花田宗重氏とその仲間達により、人丸神社が創建され、その後、高木市之助氏・坂本信幸氏の歌碑も設立。人麻呂と依羅娘子(よさみのおとめ)の二人の銅像を作り、展望台からは眺望抜群。「石見相聞歌」の世界に浸れます。紅葉の植樹、桜の植樹をし、春も秋も楽しめます。

(2) 角の会ー都野津柿本神社と周辺

人麻呂さんが恵良媛(えらひめ)さんと暮らしていたと伝えられる所です。恵良媛さんの子孫道益が植えたといわれる、樹齢700年ほどの「人麻呂の松」の一部も「松の館」で展示されています。江戸時代には「人丸の大明神」とよばれた祠(ほこら)もあったといわれます。犬養孝氏の歌碑があります。

(3) 万葉ロマンの会ー恵良媛さん

柿本人麻呂とその妻・恵良媛(依羅娘子)、そしてヤタガラス、石見王などの伝説に彩られた二宮町。延喜式にのる古社(多嶋(たばと)神社・夜須(やす)神社)があり、ツスガアラシトの祠などがあります。地名も由来が深く情景もすばらしい地・二宮町は万葉ロマン溢れる里です。清水克彦氏歌碑があります。

(4) 「石見相聞歌」の朗唱

大崎鼻から見た風景は、まさに「石見相聞歌」の世界。「石見の海 角の浦廻… 海辺をさして 荒磯の上… 玉藻沖つ藻…」 「石見の海 高角山の 木の間より 我が振る袖を 妹見つらむか」 ことも達の朗唱によって、この情景を味わえば、やっぱりやっぱり人麻呂さんの世界!

〈2〉「小学生(5年)・中学生(2年)の短歌教室と万葉のふるさと江津」

山陰万葉を歩く会 会長 川島 芙美子

江津は万葉のふるさとだから、和歌を作るのが、楽しい、おもしろい!!

美郷町会場 1月13日(祝・月)

◎時間 / 13:00～15:50 (入場無料)
◎会場 / 斎藤茂吉鴨山記念館
美郷町美郷町湯抱 電話(0855)75-1070



●美郷町の「人麻呂公御神像」

ー中世に広まった人麻呂信仰ー

山陰万葉を歩く会 会長 川島 芙美子

人麻呂さんは中世、特に南北朝時代に神様となります。連歌の世界では。

地域講演の紹介

〈ふるさとをもっと知ろう〉